

日本生気象学会雑誌・投稿規定

2024年11月22日改訂
2025年6月14日改訂

1. 投稿の資格

論文の第一著者は日本生気象学会の正会員・学生会員・名誉会員とする。共著者で会員でない者は、日本生気象学会雑誌・執筆要領10項に定める所定の料金を納入する。ただし、日本生気象学会雑誌編集委員会（以下、編集委員会と称する）が必要と認めた場合には、会員以外にも投稿を依頼し、あるいは共著者として認めることがある。すでに他雑誌などに発表されたものは、投稿できない。

2. 論文の種類

論文の種類は、総説（Review article）、原著（Original article）、短報（Short communication）、資料（Report）とする。

- (1) 総説は、生気象学およびその関連分野に関する特定のトピックについて、先行研究や先行事例を包括的に分析し、体系的にまとめた論文であって、有用性・客觀性があると認められるもの。原則として緒言（はじめに）、主体文、結び（おわりに）で構成される4,000～12,000字程度の本文と、図表・写真（ある場合）、謝辞（必要な場合）、註（必要な場合）、引用文献、和文・英文抄録、和文・英文キーワードがある完全な論文をいう。なお、編集委員会に選任された総説担当者が自ら執筆したもの、および他者に依頼したものは、依頼総説（Invited review article）として区別する。
- (2) 原著は、生気象学およびその関連分野に関する研究成果をまとめた論文であって、新規性・有用性・客觀性があると認められるもの。原則として緒言（はじめに）、材料・方法、結果、考察（結論）で構成される4,000～12,000字程度の本文と、図表・写真（ある場合）、謝辞（必要な場合）、註（必要な場合）、引用文献、和文・英文抄録、和文・英文キーワードがある完全な論文をいう。
- (3) 短報は、原著とするにはより完成度を高める必要があるが、いち早く公表する価値があると認められるもの。800～3,200字程度の本文とする以外は、原著に準じた論文をいう。
- (4) 資料は、実験、試験、調査等によって得られた各種データをまとめた論文であって、生気象学およびその関連分野の発展に寄与すると認められるもの。原則として緒言（はじめに）、材料・方法、結果、結び（おわりに）で構成される800～4,000字程度の本文と、図表・写真（ある場合）、謝辞（必要な場合）、註（必要な場合）、引用文献、和文・英文抄録、和文・英文キーワードがある論文をいう。本文には必ずしも考察（結論）は含まれない。

総説、原著、短報、資料に該当しないその他の著作（掲載論文に対する意見、生気象学に関する提言、海外事情、関連学術集会の報告、文献紹介など）について、編集委員会が認めた場合に、投稿を受け付けることがある。

3. 使用言語

使用言語は、総説については原則として和文とし、原著、短報、資料、その他については和文または英文とする。

4. 論文の採否

編集委員会で論文審査規定に基づき審査し決定する。原稿の加除訂正の要求、掲載順序の指定などは、編集委員会が行う。

5. 論文の著作権

日本生気象学会雑誌に掲載された論文の著作権は、日本生気象学会に帰属する。

6. 倫理規定の遵守

人を対象とした研究は、ヘルシンキ宣言に述べられている科学的、倫理的規範を満たしている必要がある。インフォームド・コンセントの原則を遵守し、研究対象者又はその代諾者等が、実施または継続されようとする研究に関して、当該研究の目的および意義ならびに方法、研究対象者に生じる負担、予測される結果（リスクおよび利益を含む）等について十分な説明を受け、必ず自由意志に基づく同意を得なければならない。

動物実験は科学的合理性に基づくとともに、「動物の愛護及び管理に関する法律（平成 26 年 5 月 30 日法律第 46 号）」に明文化された動物実験の国際原則である「3R（Replacement：科学上の利用の目的を達することができる範囲において、できる限り動物を供する方法に代わり得るものを利用すること、Reduction：科学上の目的を達することができる範囲において、できる限りその利用に供される動物の数を少なくすること、Refinement：その利用に必要な限度において、できる限りその動物に苦痛を与えない方法によってすること）」に則って立案され、実行されなければならない。

以上の研究については、しかるべき研究機関の長の許可文書の提出が必要である。

なお、ヘルシンキ宣言については、次の Web サイトで閲覧できる。

日本医師会：世界医師会ヘルシンキ宣言

（<https://www.med.or.jp/doctor/international/wma/helsinki.html>）

7. 校正

掲載決定後の初校および再校作業は、投稿者および責任著者と日本生気象学会雑誌編集室との間で行う。

8. 投稿原稿の送付

日本生気象学会雑誌・執筆要領に依る。

日本生気象学会雑誌・執筆要領

2025 年 6 月 14 日 改訂

1. 原稿の表紙

日本生気象学会の Web サイト・執筆要領のページからダウンロードできる表紙テンプレート書式 (Microsoft Word 形式) に従い、投稿する論文本体と齟齬のないように以下の情報を明記する。

- (1) 論文の種類 (総説、原著、短報、資料、その他)
- (2) 表題および副題 (和文論文の場合は和英、英文論文の場合は英和の順に表記)
- (3) 全著者名およびそれぞれの所属機関名 (和文・英文表記)
- (4) 投稿原稿のページ数
- (5) 推薦する査読者がいる場合、その氏名・所属・E-mail アドレス
- (6) 投稿者および責任著者の氏名および連絡先 (住所、電話番号、E-mail アドレス)

ただし、本要領 2 項 (2) に基づき原稿を作成した場合は、上記 (2) から (4) を省略できる。
続けて、チェックリストを自己確認し、該当する項目にチェック (■) を入れる。

- 第一著者は日本生気象学会の正会員・学生会員・名誉会員のいずれかである
- 投稿に先立ち著者全員の校閲を受けた
- 本論文は他誌を含め掲載済みではなく、投稿中でもない
 - 学位論文の一部であるが、機関レポジトリにその全文が非公開となっている
 - 「論文・査読用.pdf」から、著者を特定することが可能と思われる記述を全て削除した
 - 「論文・査読用.pdf」のフッタ中央にページ番号を付記した
 - 投稿規定・執筆要領に則り執筆した
 - 執筆要領 10 項「掲載にかかる料金」について同意する
- 研究倫理について
 - 人を対象とする研究であり、ヘルシンキ宣言に則っている
 - 動物を対象とする実験であり、「動物の愛護及び管理に関する法律」に明文化された動物実験の国際原則である 3R に則っている
 - 倫理審査委員会の審査を受けた
 - 承認したすべての委員会の正式名称と承認番号を「方法」の節内に記載した
 - 研究倫理指針の対象外となる研究である

2. 論文原稿の作成方法

論文原稿は、次のいずれかの方法で作成する。

(1) 雑誌編集室で組版を行う場合

縦 A4 版用紙に横書きで、上下左右それぞれ 30 mm 程度の余白をとる。和文の場合は、11 ポイントの明朝体フォントを用いて、1 行 40 字 × 30 行 (1,200 字) / 頁に整える。英文の場合は、11 ポイントの Times 系のフォントを用いて、30 行 / 頁に整える。いずれの場合にも、すべてのページのフッタ中央に通しのページ番号を表示する。

(2) 版下 (カメラレディ) 原稿を著者が自ら作成する場合

日本生気象学会の Web サイト・執筆要領のページからダウンロードできるカメラレディ形式の論文テンプレート書式 (Microsoft Word 形式) に従い、文字のサイズ・フォント、マージン等を変更せずに原稿を作成する。

3. 抄録

和文原稿、英文原稿とともに和文抄録 (200 ~ 400 字以内) と英文抄録 (300 語以内) をつける。日本語

と英語でそれぞれ 5 つ以内のキーワードと Key words を記入する。この抄録は論文の冒頭に掲げるのと、論文の内容が理解できるよう表現に注意すること。

4. 本文

総説については、原則として緒言（はじめに）、主体文、結び（おわりに）、謝辞（必要な場合）、註（必要な場合）、引用文献の順とする。

原著、短報、資料、その他については、原則として緒言、材料・方法、結果、考察（結論）、謝辞（必要な場合）、註（必要な場合）、引用文献の順とする。

5. 倫理的配慮の明記

倫理的配慮を必要とする研究では、行った具体的配慮について「方法」の節内に記載する。遵守した法令・指針がある場合にはその名称、倫理審査委員会の承認を得ている場合はその名称および承認番号等を明記する。なお、雑誌編集委員会でも倫理規定が明記されているかの確認を行う。

6. 文体と用語

和文原稿の場合は、原則として常用漢字、新かなづかいとし、外国語・外国固有名詞・化学物質名・特別な術語などは原綴でタイプする。外来語・動植物名などはカタカナ、数字は算用数字を使用し、単位は原則として国際単位系に従う。なお、学術用語は各学会で認められた用語を用い、特殊な用語はできるだけ避ける。英文原稿の場合は、原則として native speaker の校閲を経たものとする。

7. 図表・写真

図表・写真の表題はすべて英文とする。図表・写真中の記述についても原則として英文とするが、英文では表現しがたい場合は原文でも可とする。

〈例〉 Fig. 1. Relationship between the

Table 1. The comparisons of

Photo 1. The orthographic image of

図表・写真中の用語や記号に不統一のないように黒色で鮮明に描くこと。とくに本要領 2 項（1）に基づき原稿を作成する場合、幅 75 ミリあるいは 165 ミリ程度にサイズ調整されることを考慮して、文字の大きさ・線の太さなどに留意すること。

8. 文献の引用

（1）本文中の引用方法

- a) 当該論文で参照した論文はすべて本文中の該当箇所で引用する。
- b) 原則として著者名は姓のみ記し、直後に発表年を西暦で記す。
- c) 著者名を文章の一部とする場合は、著者名の直後に発表年を（ ）に入れて記す。〈例〉「Höppe (1999) によれば…」
- d) 文末に示す場合は、著者名と発表年を（ ）に入れ、著者名と発表年の間をコンマで区切る。
〈例〉「…を提案した (Höppe, 1999).」
- e) 同一著者の複数文献を一括して引用する場合は、著者名の後に発表年をコンマで区切りながら続けて記す。〈例〉「Matzarakis et al. (1999, 2008)」, 「(Matzarakis et al., 1999, 2008)」
- f) 同一著者による同一発表年の異なる文献を引用する場合は、発表年の後に小文字のアルファベットを付けて区別する。〈例〉「Nishi and Gagge (1970a)」, 「Nishi and Gagge (1970b)」, 「(Nishi and Gagge, 1970a, 1970b)」

- g) 同一でない著者を含む複数の文献をまとめて引用する場合は、同一著者ごとにまとめ、間をセミコロンで区切る。引用順は著者名のアルファベット順とする。〈例〉「(Matzarakis et al., 1999, 2008; 小野と登内, 2014; 渡邊ほか, 2010)」
- h) 著者が2名の場合は、著者間の区切りに和文文献では「と」、欧文文献では“and”を使用する。著者が3名以上の場合、第一著者名のみを書き、以降を和文文献では「ほか」、欧文文献では“et al.”とする。

(2) 引用文献リストの表記方法

- a) 本文の最後に、タイトルを「引用文献」として、引用したすべての文献を列記する。
- b) 列記順は、和文文献と欧文文献を区別せず、第一著者の姓・名のアルファベット順とする。第一著者の姓・名が同一の場合は第二著者の姓・名のアルファベット順とする。第三著者以降、同様とする。全著者が同一の文献は発表年の古い順とする。
- c) 各文献の記載は、雑誌の場合、著者名・西暦年・表題・雑誌公称略名・巻号・ページの順とする。書籍の場合、著者名・西暦年・表題・編者名(編)・書籍名・発行所(同代表所在地、必要なら国名)・引用部分の始頁-終頁の順とする。Webサイトの場合、著者名・公開日または最終閲覧日の西暦年・表題・サイト名・URL・公開日または最終閲覧日の順とする。その他、記述スタイルは以下の例に従う。

〈例〉

阿岸祐幸(1992)：気候療法. 日本生気象学会編、生気象学の事典、朝倉書店(東京), pp. 2-3.
青木緑、春野花子、秋山登(1984)：環境中の汚染物質の季節による消長について. 日生気誌,

21(1): 9-20.

Bond, T.E., Kelly, C.F. and Heitman, H. (1958): Improving livestock environment. *J. Hered.*, **49**: 75-79.

環境省(2014)：熱中症環境保健マニュアル. http://www.wbgt.env.go.jp/heatstroke_manual.php
(2015/10/22 最終閲覧)

Vanwyk, J.J. and Underwood, L.E. (1980): Growth hormone, somatomedins, and growth failure. In: Kriegler, D.T. and Hughes, J.C. (eds.), *Neuroendocrinology*, Sinauer, Sunderland (USA), pp. 299-309.

- d) 雜誌公称略名が特定できない場合は雑誌正式名称でも可とする。雑誌公称略名については、例えば、次のWebサイトで情報を得ることができる。

NLM Catalog: Journals referenced in the NCBI Databases
(<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>)

9. 投稿方法

本要領1項に定める表紙をPDF化した「表紙.pdf」、該当する研究においては倫理規定の遵守にかかる研究機関の長の許可文書の写しをPDF化した「倫理審査証明書.pdf」、氏名・所属機関名・本文・図表および写真(ある場合)・引用文献・和文および英文抄録などをすべてをPDF化した「論文・事務局保管用.pdf」、「論文・事務局保管用.pdf」から著者を特定することが可能と思われる記述(ファイル内の氏名、所属機関名、倫理審査機関、謝辞および科学的研究費補助金等による研究への言及に関する情報など)および電子ファイルのプロパティに記載されている作成者情報などをすべて削除した「論文・査読用.pdf」を、日本生気象学会雑誌編集室宛、以下の送付先に電子メールで提出する。

依頼総説の場合は、「論文・査読用.pdf」を不要とするほか、「論文・事務局保管用.pdf」について、本要領2項(1)(2)のいずれの方法で作成した場合でも、Microsoft Word形式(.docまたは.docx)であれば、PDF化しなくても構わない。その他のファイル形式を希望する場合は、雑誌編集室と協議する。

〈送付先〉日本生気象学会雑誌編集室 株式会社ソウブン・ドットコム社内

〒 116-0011 東京都荒川区西尾久 7-12-16
 TEL 03-3893-0111 FAX 03-3893-6611
 E-mail : seikisho@soubun.org

なお、掲載決定後には、組版方法について改めて雑誌編集室より投稿者および責任著者に問い合わせがある。

10. 掲載にかかる料金

投稿から雑誌への掲載、別刷送付までに申し受ける料金を以下に定める。なお、各金額は変更されることがある。

(1) 投稿料：論文投稿時の投稿料は論文の種類によらず無料とする。

(2) 掲載料：原稿の作成方法により異なる。

雑誌編集室（印刷会社）で組版を行う場合、1ページあたり 2,000 円（図表 1 点 500 円、写真 1 点 1,000 円）を申し受ける。

版下（カメラレディ）原稿を著者が自ら作成し入稿する場合、掲載料は不要とする。ただしその原稿が本要領や論文テンプレート書式を逸脱していると雑誌編集委員会が判断した場合、著者に修正を依頼することがある。

共著者に非会員が含まれる場合、原稿の作成方法によらず、1人1編につき 4,000 円を申し受ける。

(3) カラー掲載料：別途に費用を申し受ける。

(4) 上記以外に、組版原稿における校正時の大修修正・変更など特別に要する費用については別途に申し受ける。

版下（カメラレディ）原稿の修正・変更を雑誌編集室（印刷会社）に依頼する場合には、依頼があった時点で料金を協議する。

(5) 別刷料：下表のとおりとする（50 部単位）。

部数	ページ数								表紙 (追加)
	2 (1枚)	4 (2枚)	6 (3枚)	8 (4枚)	10 (5枚)	12 (6枚)	14 (7枚)	16 (8枚)	
50	1,500	3,000	4,500	6,000	7,500	9,000	10,500	12,000	2,000
100	1,800	3,600	5,400	7,200	9,000	10,800	12,600	14,400	4,000
150	2,250	4,500	6,750	9,000	11,250	13,500	15,750	18,000	6,000
200	2,600	5,200	7,800	10,400	13,000	15,600	18,200	20,800	8,000
250	3,000	6,000	9,000	12,000	15,000	18,000	21,000	24,400	10,000
300	3,300	6,600	9,900	13,200	16,500	19,800	23,100	26,400	12,000

*1 別途に送料（実費）および発送手数料 200 円を申し受ける。

*2 上記以外の部数・ページ数は別計算とする。

日本生気象学会雑誌原稿作成要領

本稿は日本生気象学会雑誌への投稿をカメラレディでおこなわれるかたのための原稿作成要領です。カメラレディとは、原稿作成者の作った原稿をそのままオフセット印刷するもので、原稿作成者の原稿が校正なしにそのまま本の1頁となりますので、充分注意して作成してください。

基本構成

日本生気象学会雑誌は別紙仕様サンプルを参考のうえ、作成して下さい。

基本構成はA4判、2段組、1段22字×44行、余白は上32mm、下20mm、左・右23mmに設定し、本文はコンマ(,)、ピリオド(.)をご使用ください。また、図表や写真もこの中におさまるように配置してください。

文字サイズ

和文	タイトル	15 ポイント／MS 明朝
	サブタイトル	13 ポイント／MS 明朝
	著者名	11 ポイント／MS 明朝
	見出し	11 ポイント／MS ゴシック
	本文	10 ポイント／MS 明朝
	所属、和文要旨、キーワード、文献、受付・受理日、別刷請求先	9 ポイント／MS 明朝
欧文	タイトル	15 ポイント／Times New Roman
	サブタイトル	13 ポイント／Times New Roman
	著者名	11 ポイント／Times New Roman
	所属、英文要旨、Key words、文献、Corresponding Author Address	9 ポイント／Times New Roman

段抜き

横幅の広い図表などで、段抜き(2段にわたる)をする場合は、字数の計算にご注意ください。

欧文

欧文は基本的に半角でご記入ください。ロシア文字、ギリシア文字なども、半角フォントをお使いいただく方がきれいにしあがります。記号類もシンボルフォントを利用するなどして、全角フォ

ントをつかわない方がきれいにしあがります。

数字

2桁以上の数字は半角で記入してください。1桁の場合も、よほどこだわりのある場合をのぞき、半角にしてください。

半角カタカナ

半角カタカナは基本的に使わないでください。

タイトル

英文タイトルは、文頭と固有名詞のみ単語の先頭文字を大文字に、それ以外は小文字にしてください。

サブタイトル

サブタイトルは【かっこ】で囲ったり、斜体にするなど、日本生気象学会雑誌にない書き方はしないでください。

サブサブタイトル

サブタイトルの下位見出し、サブサブタイトル以下の下位タイトルについては、任意におつくりください。ただし、あまり深い下位構造にしますと、見にくくなりますので、せいぜいサブサブタイトルにとどめ、あとは、箇条書きにしていただくのがいいでしょう。

図

図は、1200 dpi モノクロ2値のTiffデータを入稿原稿のデータ上に貼り付けてください。

表

表は、1段におさまるようにしてください。表のタイトル、表中は9ポイント(MS 明朝／Times New Roman)で作成してください。

表は、できるだけ罫線のみで作成されるときれ

いにしあがります。

抄 錄

和文・英文抄録、和・英キーワードのみ、左右32 mm の余白を作ってください。

文 献

文献リストは、日本生気象学会雑誌の各巻1号に掲載の執筆要領に従い記載してください。

〈例〉

青木緑、春野花子、秋山登（1984）：環境中の汚染物質の季節による消長について、日生気誌、

21: 9-20.

Bond, T.E., Kelly, C.F. and Heitman, H. (1958): Improving livestock environment. J. Head., 49: 75-79.

阿部祐幸（1992）：気候療法、日本生気象学会編、生気象学の辞典、朝倉書店（東京）、pp. 2-3.

Vanwyk, J.J. and Underwood, L.E. (1980): Growth hormone, somatotomedins, and growth failure. In: Kriegler, D.T. and Hughes, J.C. (eds.), Neuroendocrinology, Sinauer, Sunderland (USA), pp. 299-309.

※作成が完了されたら、テンプレート（Word）ファイルと PDF ファイルを、メール添付にて編集室（seikisho@soubun.org）宛にお送りください。

(別紙仕様サンプル)

[日生氣誌 00(0) : 00-00, 0000]

(Jpn. J. Biometeor. 00(0) : 00-00, 0000)

日本語タイトルをここに書き入れます

English titles

(英文タイトルは文頭と固有名詞のみ单語の先頭文字を大文字, それ以外は小文字に)

著者名¹，著者名²

English Name¹, English Name²

¹ 所属学部学科 ² 所属学部学科

¹English affiliation, ²English affiliation

(受付 年 月 日 / 受理 年 月 日)

和文要旨（200～400字）がはいります。9ポイントで入力してください。

キーワード：□□□□□，□□□□□，□□□□□・・・

This space is for English Abstract written in 9 point.

Key words: □□□□□, □□□□□, □□□□□ · · ·

ントで入力してください。

ここからが本文記入となります。本文は 10 ポイ

2. 見出しあり 11 ポイント

2.1. 小見出しありは10ポイント

引用文献

著者名 (2002) : タイトル. 書名, 30(3): 135.
Names, N.N. (2001): Title. *Name of Journals*, 15(4): 685.

Corresponding Author Address: